

# 研究室 散 歩



認知神経科学

教養学部生命・認知科学科は、生命を分子レベルから個体レベルまで統一して階層的に捉えるため、一九九七年に新しく発足した学科である。今回の研究室散歩では、同学科に所属される酒井邦嘉助教授の研究室を訪ねた。

酒井助教授の専門は、心と脳の働きから解明しようとする認知脳科学である。機能的MRIや光トポグラ

フィといった手法を用い、脳が生み出す普遍文法の仕組みを探っている。

「心という主観的な問題はこれまで証明のできないドグマが支配的で、大家の学説に合わない現象は無視されてきました。最近になって技術の発達に伴い、外か

ら心の一部が見えるようになったんです。主観的な心を万人が納得できるサイエンスという形で示せるよう



酒井 邦嘉助教授

最終的に心を解明するこ  
とができるのだろうか。「一  
歩一歩積み重ねていけば可  
能だと考えます。私は心を  
もつ機械も将来的にはでき  
るだろうと思います。ただ  
研究すればするほど謎が深  
まっていくのも事実なん

「心という領域を  
科学で扱ってしまうことに  
対し、違和感を感じるとこ  
ろもある。「心の脳科学は  
始まったばかりなので、一  
般の批判を受けるほど定着  
していません。でも皆さん  
が心に求めている水準は非  
常に高いので、未熟な手  
ルでは心と認められないと  
思います。」

う語った。  
しかし、心という領域を  
科学で扱ってしまうことに  
対し、違和感を感じるとこ  
ろもある。「心の脳科学は  
始まったばかりなので、一  
般の批判を受けるほど定着  
していません。でも皆さん  
が心に求めている水準は非  
常に高いので、未熟な手  
ルでは心と認められないと  
思います。」

## 科学で心を解明する

「心という領域を科学で扱ってしまうことに対し、違和感を感じるところもある。「心の脳科学は始まったばかりなので、一般の批判を受けるほど定着していません。でも皆さんが心に求めている水準は非常に高いので、未熟な手ルでは心と認められないと思います。」

「心という領域を科学で扱ってしまうことに対し、違和感を感じるところもある。「心の脳科学は始まったばかりなので、一般の批判を受けるほど定着していません。でも皆さんが心に求めている水準は非常に高いので、未熟な手ルでは心と認められないと思います。」

「心という領域を科学で扱ってしまうことに対し、違和感を感じるところもある。「心の脳科学は始まったばかりなので、一般の批判を受けるほど定着していません。でも皆さんが心に求めている水準は非常に高いので、未熟な手ルでは心と認められないと思います。」

「心という領域を科学で扱ってしまうことに対し、違和感を感じるところもある。「心の脳科学は始まったばかりなので、一般の批判を受けるほど定着していません。でも皆さんが心に求めている水準は非常に高いので、未熟な手ルでは心と認められないと思います。」